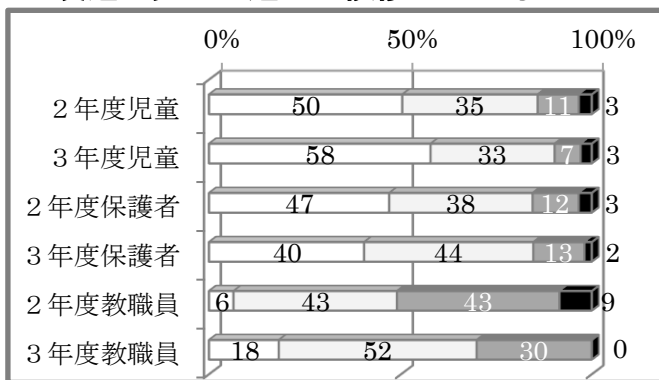


学校評価アンケート結果について（お知らせ）

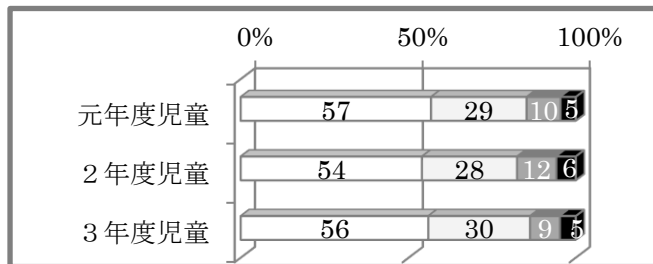
日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度は、皆様にご協力いただき、アンケートフォームを活用して学校評価アンケートを行いました。おかげさまで、本年度のアンケート結果の分析を早い段階でまとめることができました。また、諸経費の削減にもつながりました。ご協力ありがとうございました。今回の結果をよりよい学校づくりの資料としていきます（回答数 児童：716名／保護者：465名／教職員：38名）。

1 友達や先生に進んで挨拶している



□ そう思う ▒ どちらかというそう思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

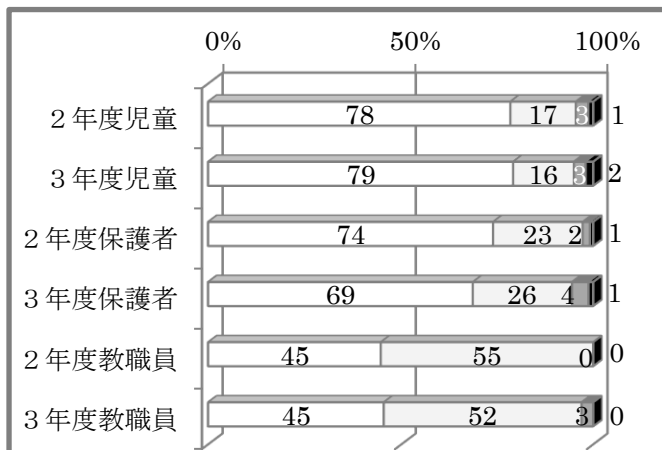
（参考）学校ではないところでも、知っている人に挨拶している



挨拶することを社会生活の基本ととらえ開校以来、重点指導項目として取り組んでいます。挨拶の習慣も定着して、自発的に挨拶をする児童「（どちらかという）そう思う」が増加し、90%以上に達しました。今後も「あいさつの赤池」と呼ばれるように継続して指導していきたいと思えます。

そのために、人との関わりにおいて大きな効果があることを様々な教育活動の中で意識させ、指導にあたりたいと考えています。校外での挨拶についても参考に載せました。毎年80%以上の児童「（どちらかという）そう思う」が学校外でも挨拶を意識しています。これからも地域の方々へ元気な挨拶ができるよう指導をしていきます。

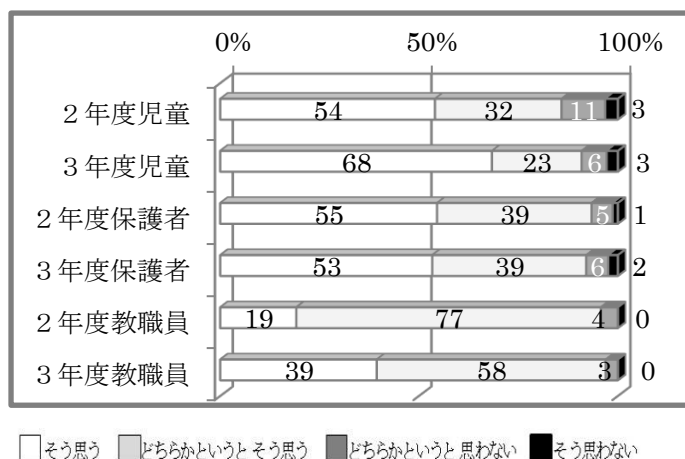
2 学校で楽しく過ごしている



□ そう思う ▒ どちらかというそう思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

約80%の児童が「楽しく過ごしている」と回答しています。コロナ禍において少しでも充実した学校生活を送ることができるように授業や行事の実施方法など工夫してきた結果だと考えます。一方で「そう思わない」児童も存在します。設問3～8で対策を講じてまいります。今後も一人一人に寄り添い、学校生活に主体的に関わり、楽しさを実感できるように魅力的な学校にしていきたいと考えております。

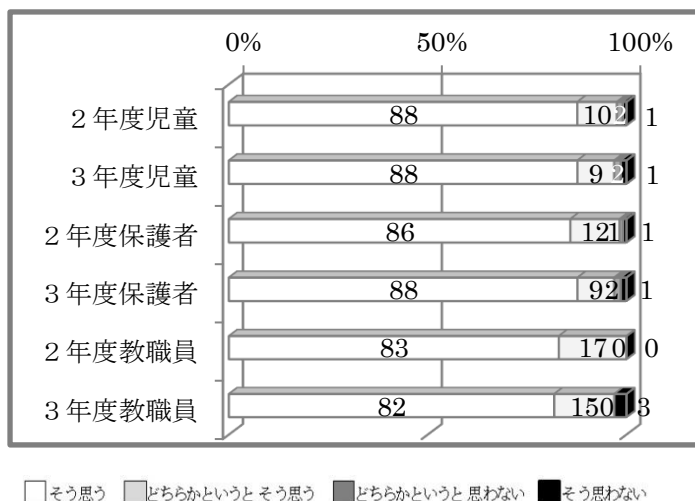
3 学年を超えた活動に楽しく取り組んでいる



今年度も全校で取り組む行事が実施不可能となりました。この状況下、清掃活動などで、高学年児童が良い手本となり、低学年児童が協力し、自分の役割を自覚して行動できるよう指導を継続してきました。その結果、90%以上「(どちらかという)そう思う」の児童が異学年の活動を楽しみと感じたと考えます。

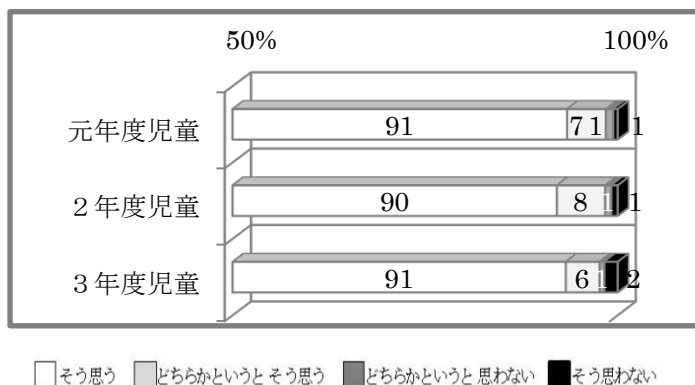
異学年の児童を理解し、互いに協力することが社会生活における協調性につながるのとらえています。その育成のために、学年を超えた組織的な活動を今後も設定していきます。

4 学校の行事を楽しんでいる



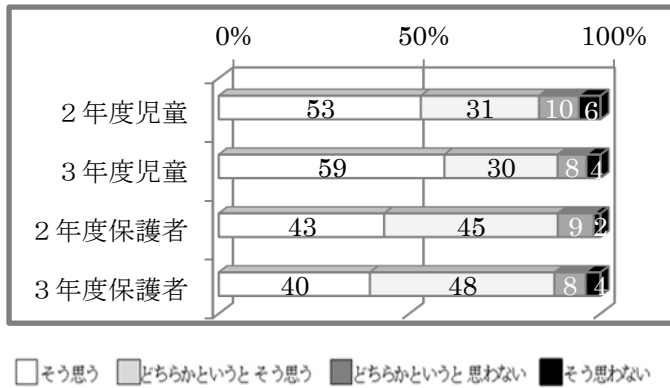
本年度は2学年ごとの運動会や学習発表会に代わる「赤小参観日」を実施しました。規模は小さくなりますが、学年、学級で取り組むことで企画・運営についても機会を与えることができました。その結果、児童、保護者の皆様からは昨年度同様に高い評価を得ることができました。また、児童が活躍する姿もゆっくり見ることができたというご意見もいただきました。今後も、感染対策を行いながら、充実した行事となるよう心掛けていきます。

5 学校に遊んだり話したりする友達がいる



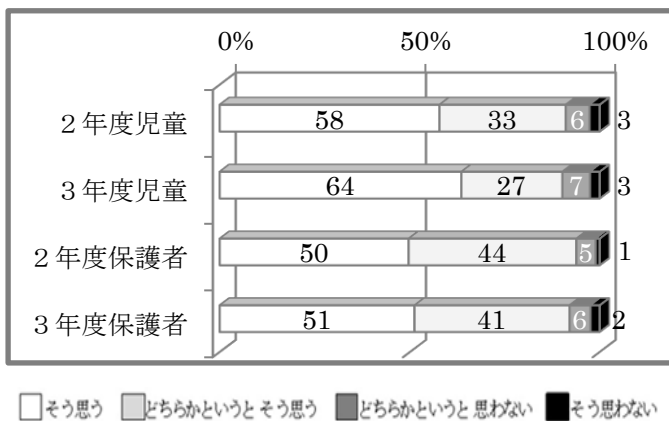
過去3年間、90%の児童が「友達がいる」と回答しています。学校として大変喜ばしいことです。しかし、「(どちらかという)そう思わない」と回答をしている児童が3%います。友達と関わることで自分とは違う価値観を知り、集団生活において必要な協調性を身に付けていくことが可能となります。友達との遊びや会話を通して、人と関わる喜びを経験し、良好な人間関係を築く場をより多く設定していきたいと考えています。

6 困ったときに相談できる先生がいる



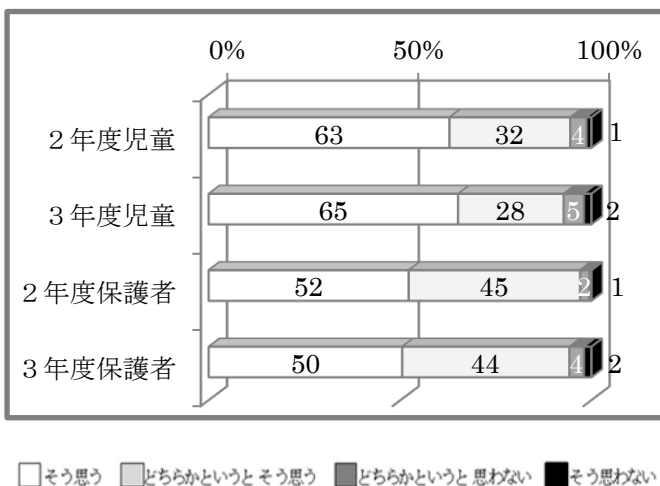
全体的にみると、相談できる先生がいる「(どちらかという) そう思う」と回答した児童や保護者が80%以上でした。教職員と児童との関係が良好であると考えます。しかしながら、必ずしも学級担任が一番話しやすいとは限りません。本当に困ったときに誰かに話せる校内の雰囲気や態勢を整え、児童の悩みの解決に努力していきます。教職員以外にもスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが勤務しております。児童、保護者ともに相談することが可能です。予約窓口は教頭です。

7 授業に楽しく取り組んでいる



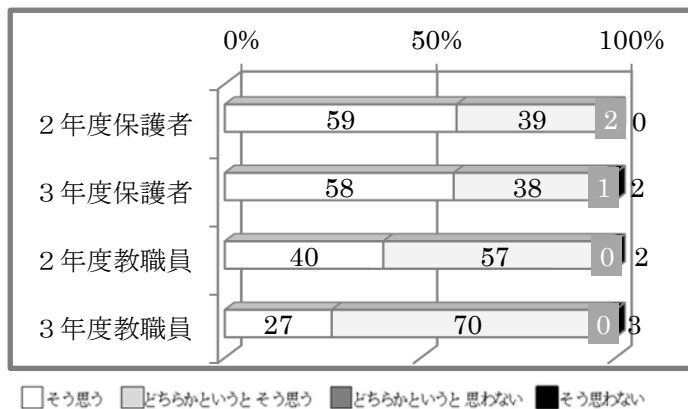
本年度も赤池小学校では「楽しい授業」「わかる授業」を目指し、授業研究を継続しております。授業に楽しく取り組んでいると回答した児童や保護者「(どちらかという) そう思う」が90%以上でした。本校における教育活動が児童だけでなく、保護者の皆様にもご理解いただいている結果だと考えます。今年度から一人一台のタブレット端末が導入され、授業で活用したことで個々の学習意欲の向上につながっていると考えます。

8 学校の授業はわかりやすい



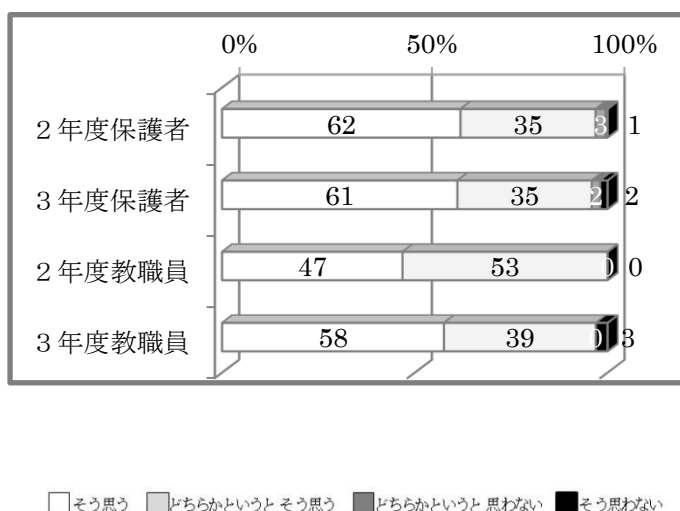
また、わかりやすい授業を目指すため、「学習の基礎・基本の定着」と「伝え合う力を高める授業づくり」を教員研修の重点項目としました。これらは児童が将来必要とする能力を習得するために重要と考えられます。GIGAスクール構想が推し進められる中、それに伴う環境整備やタブレット端末を効果的に使うための研修を進めてまいりました。会話による児童たちの関わり合いが制限されるコロナ禍において、積極的にICT機器を活用し、新しい関わり合いの可能性を広げられる工夫をしております。

9 施設、設備は子どもたちが生活しやすいように整備されている



開校して14年が経過しようとしています。施設、設備は比較的整備された状態です。児童を中心とした毎日の清掃活動、委員会活動を中心に環境整備に取り組んでおります。しかしながら、一部設備において経年劣化が進み、教職員の「そう思う」の割合が低くなっています。修繕が必要な箇所については、日進市からの修繕配当予算を有効に使い、安全に関わるものを最優先して対応しています。

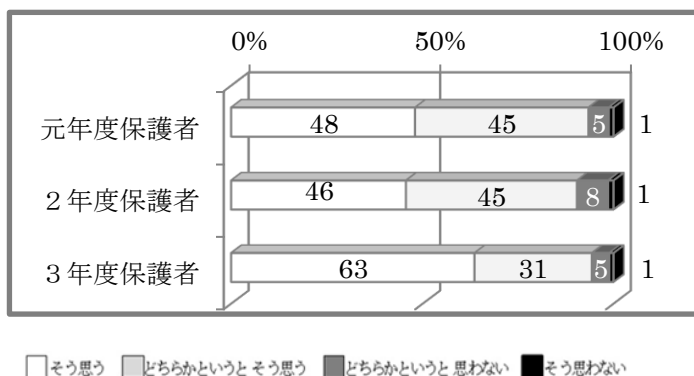
10 学校は子どもが安全な学校生活を送れるように努めている



危機管理体制の充実と安心で安全な生活を送れるように努力しております。今年度は避難訓練3回、シェイクアウト訓練2回、授業時のみならず休み時間などにも行いました。そういった取組に対し、多くの児童や保護者の皆様から高い評価をいただきました。

また、管理外ですが、登下校の交通安全についてもPTAや地域見守り隊、地域学校協働活動ボランティアの方々に力を借りて指導を強化しています。学校内での安全に対する意識が日常生活でもいかなるよう指導を継続します。

11 学校は各種たよりやホームページで教育活動や子どもの様子を伝えている



ホームページ「赤池のあゆみ」で日々の学校生活や修学旅行、野外活動などの行事など児童の活動を随時更新しました。児童の様子がよく分かるとよい評価をいただきました。今後も、各種たよりやホームページを活用し、児童の活躍、学校の様子を伝えていきたいと思っております。更新回数の増加に比例して閲覧数が増えています。赤池小学校に対する皆様の関心に応えていくつもりです。

※ 赤池小学校 HP <https://nisshin.ed.jp/e08/>